

地方公共団体名	栃木県小山市
所属部局 担当者名	総合政策部ゼロカーボン・ネイチャーポジティブ推進課 担当：角野 匠
地域の抱える 課題	<p>【環境・脱炭素に関する課題】</p> <p>公共施設 における脱炭素化の取組がスタートしたが打ち手に苦慮している。</p> <p>【同時解決したい地域の課題】</p> <p>① 平地林の減少による生物多様性の棄損 起伏の少ない地勢のため、 太陽光発電パネル の設置や宅地開発、ストックヤード造成による平地林伐採により直近20年で市内の平地林が約30%減少している。</p> <p>② 交通のカーボンニュートラル化 栃木県、ひいては北関東は、 自動車依存のインフラ構造。公共交通の輸送効率はマイカーよりも優れていることから、公共交通の活用により脱炭素化を進めたい。</p> <p>【キーワード】 公共施設、太陽光発電、 ネイチャーポジティブ、TNFD、平地林、田園環境都市、スマートモビリティ</p>
地域のありたい 未来	「豊かな自然環境と、社会経済活動を保つ都市環境が調和する田園環境都市」
事業の概要	・ゼロカーボン・ネイチャーポジティブ推進プ

	<p>ラットフォーム（市内企業を中心とした産官学民連携PF）の設立</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住宅脱炭素化設備等導入補助金制度（ZEH、蓄電池、V2H等への補助） ・中小企業SBT認定取得支援事業補助金 ・公共施設へのEV充電設備の設置など
<p>企業に求めたい内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設（小中学校、市役所支所等）の屋根等への太陽光パネル設置に関する支援（設置可能性の調査や施工まで）。 ・市域内で生み出された再エネマネーを域内の自然資本再生（保全）等に活用されるスキームの策定支援。 ・小山市の地域特性を考慮し、脱炭素に向けた公共交通、EV、自転車、超小型モビリティ、シェアリングサービス、デマンド型交通の活用方法の提案。